豊庄だより

第 647 号 2021 年1月 12 日

福岡市早良区南庄２－２６－１３
社会福祉法人林生会豊庄保育園
園長　西尾　達

前日からの寒波襲来で今年一番の冷え込みとなった１月８日、１月の誕生会を行いました（1 月の誕生者は 10 人でした）。未明から雪となり、昼間も気温は上がりません。寒々とした一日となりましたが、誕生会をしたホールは子どもたちの歌声と歓声であふれ、とても暖かい空気に満ちていました。子どもたちのステージに続く、恒例の保育士の出し物も、不思議な世界が演出されていました。ねずみ、うさぎ、そして今年の干支の牛さんが、順に餅つきをしました。ついた餅が一番伸びたのはもちろん牛さんでした。そのあと、花壇にまいた種から芽が出、先生が水をかけてやると、ずんずんと伸び、花を咲かせました。このときは蕾だったのですが、さらに水をシャワーすると、ジワーッと花が開くではありませんか。その変化に子どもたちはびっくり。誕生会が終わったあと、どうなっているのだろうと、子どもたちは近くまで見に来ていました。私もどうしてなるんだろうと、担当した岩佐先生に聞くと、「折り紙で花びらを作り、水をかけると開くんですよ」と教えてくれました。（※興味のある方は、ネットで、「水にお花を咲かせましょう」を検索してみてください）

誕生会のあとは、懇談会です。今回もいろいろな意見が交わされました。紹介します。

▼ごはんをなかなか食べません。（さくら組）▼園では一人でできることが、家ではできない。オムツが取れない。早生まれだから、イヤイヤ期だから仕方ないと、できないことに対して気にしなさ過ぎていないかな？っと最近感じています。（すみれ組）▼「どもり」があります。病院でも相談しています。今は、大きな問題はないですが、小学校に上がり（年長になって）、からかわれたり、つらい思いをしないか心配です。療育（ST）に通う予定です。そこで、色々相談していこうと思っています。現在のところ、保育園は楽しく通っているので、大丈夫です。（ゆり組）▼テレビ（アニメ）とタブレットに夢中になりすぎる。入り込むと人の話を聞かない。（ゆり組）▼ほぼ毎朝、「保育園に行かない　お休みする」と言って起きてくれません。特に連休明けはひどく、泣いて暴れます。優しく諭（さと）すように行ったり、おどしたり、怒ったり、あの手この手で何とか登園させています。保育園に行くことが嫌というわけではなく、お家がいいからという理由です。甘えん坊にも程がある・・・と、厳しく接しているつもりですが、何だかんだ甘やかしているのかなと反省しています。（ひまわり組）▼弟の面倒をよく見てくれるのですが、ストレスがたまってないか心配です。使っているおもちゃをすぐ取られたり、急にたたかれたり、かまれたりしてもやり返しません。（ひまわり組）

懇談は約 30 分。私が気にかかったのは、吃音（きつおん）の悩みです。これまでも、このなやみについてこれまでも相談を受けたことがありましたが、適切なアドバイスはできていませんでした。これではいけないと思い、以前西日本新聞朝刊に連載されていた「吃音（きつおん）リアル」という記事を思い出し、これを書かれた九州大学の菊池良和先生のことを調べました。先生が一番してほしいと考えられているのは、吃音の子をからかったり、真似をしている子がいたらやめさせてほしいということでした。子どもから、「何故してはいけないのか」と聞かれたら、「わざとしている訳ではないから」と話し、聞いた子が、「うん」とうなずいたら、ほめてあげてほしいということでした。